



浸水ハザードマップを
 更新しました…………… 2面

三鷹市の財政運営の状況…………… 3面

市内公共施設の利用を
 段階的に再開しています…………… 6・7面

市からのお知らせ…………… 11面から

特別定額給付金「郵送申請」の
 申請書を発送しました…………… 12面

「三鷹市PCRセンター」を開設します… 12面

自分のために みんなのために 「新しい生活様式」を

問 総合保健センター ☎46-3254

<p>人との間隔は できるだけ2m</p> 	<p>外へ遊びに行くときは すいている時間に</p> 	<p>会話はできるだけ 真正面を避ける</p> 
<p>運動するときも 周りの人への配慮を</p> 	<p>家に帰ったらまず 30秒の手洗いと顔洗い</p> 	<p>毎朝、体温を測定 体調が悪い日は休む</p> 
<p>買い物は少人数で 素早く済ませる</p> 	<p>テイクアウトも活用 大皿は避けて、料理は個々に</p> 	<p>仕事は在宅勤務や 時差出勤を</p> 

参考：厚生労働省「新しい生活様式」

5月25日、国の「緊急事態宣言解除」の報道がありました。皆さんのご協力が大きな力になりました。ありがとうございました。ありがとうございます。しかし今後は、経済活動などが再開されますので、第2波を起ささないためにも、細心の注意を払うことが必要となります。既にその兆候が生まれていると警戒を強くして「東京アラート」も発令されています。そして今、第2波を想定した対応策を準備しておくことが、私たちに求められています。国においても、自治体においても、そして個人においてもです。三鷹市では、医師会をはじめとした関係者の皆さんのご努力で、ようやく「PCRセンター」開設の一手前まででき着けることができました。

一方、経済活動やさまざまなボランティア活動などの再開も、市では支援していきます。つまり、「感染を押さえ込む」という政策と、「経済活動の再開」という二つの政策をバランスを取りながら進めていくこととなります。また、皆さんにおいては、上記の「新しい生活様式」を実践することが、とても重要になっていきます。

6月の市議会定例会では、第1波へのこれまでの市の取り組みと今後想定される第2波への対応を報告し、皆さんへの生活支援を軸とした議案を提案します。ともに慎重に一歩ずつ、この難局を乗り切っていきましょう。



市 長 コ ラ ム

 自分のために、そして
 大切な人の「命」のために